

伊勢物語『さらぬ別れ』定期テスト対策問題（問題編）

組 番 氏 名

／100点

本文

むかし、男ありけり。身はいやし〔①〕ながら、母なむ宮なりける〔②〕。その母、長岡といふ所に住み給ひけり。子は京に宮仕へ〔③〕しければ、まうづ〔④〕としけれど、しばしばえまうでず〔⑤〕。一つ子にさへ〔⑥〕ありければ、いとかなしうし給ひけり〔⑦〕。さるに、師走ばかりに、とみのこと〔⑧〕とて御文あり。おどろきて〔⑨〕見れば、歌あり。

老いぬれば さらぬ別れ〔⑩〕の ありといへば いよいよ見まくほしき君かな〔⑪〕
かの子、いたううち泣きてよめる。

世の中に さらぬ別れの なくもがな〔⑫〕 千代もと祈る 人の子のため〔⑬〕

設問

1. 現代語訳

- 傍線部⑤「しばしばえまうでず」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑦「いとかなしうし給ひけり」を現代語訳しなさい。
- 母の歌（傍線部⑪をふくむ歌）「老いぬれば さらぬ別れの ありといへば いよいよ見まくほしき君かな」を現代語訳しなさい。
- 子の歌「世の中に さらぬ別れの なくもがな 千代もと祈る 人の子のため」を現代語訳しなさい。

2. 文法・敬語

- 傍線部②「母なむ宮なりける」について、「なむ」は何か（品詞）。また、それを受けて文末が「ける」となっているのはなぜか、文法的に説明しなさい。
- 傍線部⑤「えまうでず」の「え……ず」は、どのような意味を表すか答えなさい。
- 傍線部⑪「見まくほしき」の「まく」は何か。文法的に説明しなさい。
- 傍線部⑫「なくもがな」の「もがな」の文法的意味（はたらき）を答えなさい。

3. 語句

- 傍線部①「いやし」、傍線部⑩「さらぬ別れ」の、ここでの意味をそれぞれ答えなさい。
- 傍線部⑥「一つ子にさへ」の「さへ」の意味を答えなさい。
- 傍線部⑧「とみのこと」の意味を答えなさい。

4. 内容理解

12. 傍線部②「宮」とは、ここでは具体的にどのような人を指すか答えなさい。また、それによってこの「男」がどのような身の上であることがわかるか、簡潔に説明しなさい。

13. 傍線部③「人の子」とは、だれを指すか。歌の内容をふまえて答えなさい。

14. 母の歌と子の歌は、ともに「さらぬ別れ」を詠んでいるが、両者にこめられた心情はどのように違うか。説明しなさい。

5. 文学史

15. 『伊勢物語』のように、和歌を中心にすえて、その歌が詠まれた事情を物語る形式の作品を何というか答えなさい。また、『伊勢物語』の主人公とされる実在の歌人の名を答えなさい。